

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0372101105
法人名	社会福祉法人 西根会
事業所名	むらさき苑かまど わの家
所在地	岩手県八幡平市田頭24-36 (電話) 0195-70-1122

評価機関名	財団法人 岩手県長寿社会振興財団		
所在地	岩手県盛岡市本町通3-19-1		
訪問調査日	平成20年11月14日	評価確定日	平成20年12月17日

【情報提供票より】(20年 10月 20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 17年 4月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算	8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	18,180 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	950 円	

(4) 利用者の概要(10月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84.3 歳	最低	72 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八幡平市立西根病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然が多く残る岩手山や松尾八幡平を望む「わの家」は、旧西根町の街中にあり八幡平市役所と近い位置にある。敷地内には母体法人の特別養護老人ホームとデイサービスの他、社会福祉協議会の事務所と障害者授産施設が隣接しているため、日常的に交流が行われている。近隣は住宅地であり、公民館、小学校、中学校がある他、国民健康保険西根病院があるため、地域での生活は充実しているが商店が少ないため、買い物を行うには自動車での移動が必要である。地域との取り組みが法人全体で行われており、敬老会等町内会の集まりやイベントには法人に案内が来ており、特養、デイサービスと合同で参加して、小中学校や保育園とも交流が行われている。地域の祭の際にはみこしが敷地内にまで入ってくるなど、住民による粋な配慮がなされている。法人のイベントは社協等と合同で行われ、ホームと各施設全ての利用者、職員が協力する体制ができており、地域住民や行政も非常に協力的である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回実施された外部評価において、事業所の多機能性について多様な支援を求められていたが、今回の調査では利用者や家族に対する独自の相談機関を運営しており、退所後の生活や特養への入所、その他の相談に応じられるようになっている。また、職員の特長を活かす努力もなされており、家族への食事提供や利用者への散髪など、様々な試みが行われている。
重点項目 ②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員がそれぞれ評価を行い、管理者がまとめる方法で実施された。評価の内容については、全ての職員が完全に理解されているわけではないものの、管理者の指導により職員全員が理解されるよう努力されている。
重点項目 ③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	地域住民、公民館長、民生児童委員、家族、行政等により実施されている。更に、直近の会議では消防署、交番からも参加を求めており、地域におけるホームの存在について理解を深めてもらうきっかけとなっているほか、協力を得やすい体制が整っている。
重点項目 ④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族とは面会に訪れる度に情報のやりとりをしているが、現在までのところ家族からの要望は特には無く、苦情も受けていない。また、家族会の結成についてホーム側から求めたものの家族側が消極的であったため、ホーム側が意見を求めようにも迷っている状況にある。しかし、独自の相談機関を設けたり、日頃から家族側との意思疎通を密にしようと非常に努力されており、今後に期待される。
重点項目 ④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームとしては町内会に加入していないものの、法人全体として地域と交流があり、敬老会など地域の行事に積極的に参加している。周囲にある小中学校や保育園とも交流があり、運動会や文化祭に招かれたり、公民館の行事への参加がなされている。地域の祭の際には敷地内にみこが入ってきて利用者を楽しませてくれている。しかし、個人情報保護が徹底されているため、写真や広報でのホームの生活の様子を地域に伝えることは難しいように感じられた。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	安全・快適・やすらぎのある理想郷を作り出そうという母体法人の理念を継承したホーム自体の理念を作り出しており、「輪・和・話・我」の4つの「わ」に「みんな輪になり穏やかに話し声の聞こえる我が家」という意味を込めている。この理念はホーム設立時に法人職員に公募して決めたものであるが、意味まで考えられていたものである。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、4つの「わ」がつながることにより母体法人の理念にある「安全・快適・やすらぎ」を得ることのできる理念として意識しており、ケアプラン会議の場で唱和している。また、職員室内と玄関にも掲示されており、ホームを訪れた方も目にすることができるようになっている。	○	職員間で理念を意識してはいるが、日常的に振り返りや確認がなされていないため、意識はしているものの、少々あやふやな点も窺える。毎朝、引継ぎの際などに唱和を行うなど、常にその内容について理解を深め、業務に反映していくことを望む。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会には加入していないが、同じ敷地内にある母体法人に町内会の案内が来ており、地域の行事に参加している。地域の敬老会や周辺の小中学校の運動会や文化祭、相撲大会に招かれている他、保育所の子供たちとも交流がある。また、地域の祭が行われた際には敷地内までみこしが入ってきてくれるなど、交流は盛んに行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員が一人ずつ自己評価を行ったものを管理者がまとめる形で事業所としての自己評価票が作られている。職員は全ての項目について理解されているわけではないが、理解が不足している項目については完成した自己評価票を確認することで内容を理解し、サービスの向上に努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の割合で実施しており、参加者は地域の方、公民館、民生児童委員、行政、行政事務組合、家族で構成されており、ホームからも職員が参加している。なお、直近で行われた会議では消防署長と交番からも参加を頂いており、ホームの運営について意見や助言を頂いている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の職員とは運営推進会議への出席を依頼している他、入所判定会議にも参加して頂いており、できるだけ会って話をする機会を設けている。また、市で新採用になった職員の研修を受け入れたり書類のやりとりをするなど、情報交換を行う機会が多い。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	最低でも毎月1回は家族の方が来ており、来所の際に利用者の様子などを報告している他、担当者からお手紙で毎月報告をしている。また、利用者毎に家族への報告をファイルして報告している。利用料金等はこの際に現金で支払われている。広報は作成されていない。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に1回程度アンケート調査を実施しているが、家族から特に意見要望等が出ていない。お便りが送られていることについてありがたいという意見があるものの、家族会の結成については家族側が消極的であるため、結成できない状況にある。また、家族、利用者に困ったことがあった場合のため、ホーム内で相談機関を設けている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設後あまり年数が経っていないため、異動の実施はあまり行われていないものの、法人として職員の育成のために他所の職員との入れ替えが(異動)行われている。但し、辞令発令後も施設を行き来しており、徐々に異動させようとする努力が見られる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の方々は、以前から福祉系の職場で勤めていた方が多いが、現場での経験の無かった方もいたため、技量に応じて可能な限り研修に参加するように取り組んでいる。GH協会等、外部の研修の他、年に4回以上行われる母体法人が行う研修に参加しており、認知症、感染予防、事故防止、リスクマネジメント、救急救命法等、実施されている研修の範囲は幅が広い。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	母体法人の他事業所との交流の他、他法人との交換研修が行われており、他所のいい点、参考になる点をお互いに学び取っている。他団体の研修でも交流があり、普段から電話で情報交換が行われている。また、法人間でスポーツ交流会が行われており、法人同士での交流は盛んである。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用を希望する方には、利用前に家族に事業所の内容について説明を行い、理解を頂いた上で本人に説明を行っている。また、施設の見学も行っている。入所にあたっては利用判定委員会が審査を行い、介護度、認知度等に応じて優先順位を決めており、利用を希望した方から入所している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームにあるビニールハウスでの農作業や、キノコ、山菜の調理等、若い職員が経験したことの無い事を行う際には、人生経験が豊富である利用者の知恵を拝借する機会が多く、作業や調理方法について指導を受ける事がある。普段の生活の中でも掃除やゴミ出し等、できることはやってもらい、職員との生活を支え合っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的な利用者との会話の中から一人ひとりの希望や要望を聞き取るようにしており、センター方式のアセスメントにより職員間で利用者の情報を共有し、本人の希望に沿う努力が成されている。また、家族が来所した際に家族の意向を聞き取ることにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアプラン会議を実施しており、職員全員が参加している。会議ではセンター方式で行われた情報を基に検討を行い、作成した内容は家族へ説明のうえ、意見を頂いている。計画作成上、必要な場合は法人内の看護師、ケアマネ等へ意見を求める場合がある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に見直しを行っており、生活援助計画評価表と日常会話を中心に、本人の意向に沿う形で対応を変えるようにしている。見直しに当たっては職員会議でプランを作成し、家族にも確認してもらい、電話、手紙、Eメールで意見を伺っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームが母体法人の敷地内にあるため、併設されている特別養護老人ホームの看護師やデイサービスのイベントに参加する等、支援や協力を受けやすい利点がある。また、ホーム内でも利用者や家族からの相談に応じるため相談機関を設置している他、職員の中には調理師、栄養士や散髪が得意な方がおり、それぞれ対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には利用開始前に利用していたかかりつけ医を利用しているが、ホームの近くに西根病院があるため、こちらを利用する方もいる。診療を行っていない科目について市内或いは近辺の病院を利用しているが、基本的に通院は緊急時を除き家族に対応してもらっている。なお、医師に説明が必要がある場合は職員が同行することがある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在のところ、法人として終末期ケアを実施する予定は無いが、将来的にありえないことではないため職員の研修は実施しているが、対応についてはまだ検討の段階としている。基本的には全介助が必要となった場合は特養への入所が適切と判断している。また、利用者の中には実際に終末期は特養でとの希望がある。	○	法人としてはグループホームの業務外であるとの考えではあるが、利用者にとってはホームが家であると考えたとき、今後終末期をグループホームで過ごしたいという希望が出てくる可能性が考えられる。この対応についてより職員の研修を推進し、理解を深めていただきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについての規定を定めており、共用空間の壁に貼ってある。個人情報は運営協議会等の場に提出する場合があるが、基本的には事務室内から外には出さないようにしている。また、外部への写真等個人を特定できる物の提出を極力抑えているため、広報の発行は行っていない。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のスケジュールは起床、食事、入浴、就寝程度の時間はおおまかには決まっているが、本人の意向に沿う努力がなされている。外出希望にはその日の天候や体調を見ながら、臨機応変に対応しており、希望があればほぼ毎日、職員随行で散歩をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員が交替で1ヶ月分ずつ献立を作っており、職員と利用者が協力して調理し、後片付けは全員で行っている。ホームで作っている野菜を収穫したり、頂き物があった場合は献立を変更する場合がある。食事の際、迷わないように指定席となっており、テーブルには名前が貼り付けてあり、個人専用の席となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	必ずしも毎日の入浴を希望されているわけではないが、週に2回以上の入浴を心がけている。入浴可能な時間帯は日曜日以外の午後1時から5時頃までで、朝に利用者の血圧と体温を確認しており、希望に沿うようにしている。		利用者の中にはご本人の希望から、入浴回数の少ない方もいるが、職員側からは「もっと入浴してもらいたい」と声が出ており、利用者への声かけが行われている。今後も引き続き入浴を促す努力を続けていきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員側から利用者に声をかけて趣味的な活動が行われている。廊下には利用者と職員が協力して作られた貼り絵や装飾品がいくつも飾られており、裁縫を行っていた技能を活かして、雑巾縫いや、全員で合唱が行われている。掃除好きな方が多いため、モップ等の掃除用具を用意されており、全員で掃除されている。ホームの外ではビニールハウスで野菜を作っており、調理に活かされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望により、体調を見ながら外出している。ホームの外での日光浴や近辺の散歩が日常的に行われている。ホームや特養の車を利用して外出することもあり、ドライブや買い物にも様子を見ながら対応している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵を取り付けていないが、ホームの玄関には鍵とセンサーが取り付けられており、出入りがわかるようになってきている。夜間は夜勤の職員のみとなる場合、おおむね午後7時から午前8時頃まで施錠されている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣接している特養と合同で避難訓練を実施しており、消防署と地域の住民が結成した災害援助協力会が参加した。また、ホーム内でも訓練を実施している。法人と職員の連絡網が作られている他、消防署直通の電話回線が設置されている。事務所内には災害時用に非常食と水を用意している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立の作成時にバランスの良い食事になるように意識して作成しており、月に1度抜き打ちで栄養の計算を行っている。水分量は毎日使用しているコップの量でおおまかに確認しており、日常的に水分補給するようお茶の時間等で声をかけている。また、必要であれば職員の努力により夜間でも水分補給できるようにしている。		職員に調理師がいること、栄養の確認によってバランスの良い食事が提供されている。水分量については毎日おおまかには確認されているが、もう少し細かく確認できる工夫をしていただきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広く、天井が高く太陽が差し込む明るい共用空間となっており、食堂を兼ねている。テーブルを並べてもまだまだ余裕があるほどの広さがある他にやや小ぶりな部屋があり、大きなソファが並んで対面しながらテレビを見ることができる。廊下には一部に畳の小上がりがあり、中庭を眺めながら日向ぼっこもできる。壁には利用者と職員が作成した季節感のある貼り絵がたくさん飾られている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入り口には利用者の好みの表札が取り付けられている。室内にはベッド、洗面台、押入れがあり、パネルヒーターが設置されているためヒーターの持ち込みは無い。窓が大きく作られているが、二重窓のため機密性が高い。ベッドは好みの場所に移動することができる。布団や筆筒、机、写真や位牌、ラジオなどが持ち込まれており、自分好みの部屋を作り出している。		